

2015年度

事業報告書

自 2015年 1月 1日

至 2015年12月31日

一般社団法人日本ゴルフツアー機構

2015年度 事業報告書

自 2015年 1月 1日

至 2015年12月31日

事業内容

1. トーナメント事業

本年度、国内、海外トーナメントは以下のように実施した。

(1) トーナメント事業の展開

- ① ツアートーナメント25試合の管理及び運営
国内24試合（JGTO主催1試合、JGA主催2試合、PGA主催1試合）、海外共催1試合（THE SINGHA CORPORATION THAILAND OPEN）（試合数前年比3増2減）
- ② チャレンジトーナメント17試合の管理及び運営（試合数前年比1増）
- ③ 新規ツアー及びチャレンジトーナメントの開拓

(2) トーナメント関連事業

- ① シーズンオフと夏にオリンピックを目指した強化合宿の実施
フェニックス・シーガイア・リゾート内
第1回目 1月26日（月）から1月30日（金）
第2回目 2月 2日（月）から2月 6日（金）
第3回目 2月16日（月）から2月20日（金）
夏季
関 東 8月 5日（水）ザ・カントリークラブ・ジャパン
関 西 7月13日（月）JFE瀬戸内海ゴルフ倶楽部
- ② ツアーメンバーにルール、マナー、エチケットの遵守及び一層のファンサービス等を要請
- ③ ジャパンゴルフツアートーナメント規程の改定
- ④ アンチ・ドーピング普及啓発活動とドーピング検査（2試合）
- ⑤ 年間表彰式の開催 12月7日（月）パレスホテル東京
（今回より選手全員のお見送りや弦楽四重奏の演奏などを行なう）

(3) 海外事業の展開

- ① フェデレーション会議及びオフィシャルワールドゴルフランキング会議への出席（マスターズ会場、全英オープン会場、BMWチャンピオ

ンシップ会場)

- ② 4大メジャー、WGC等国際大会への選手及びオフィシャルの派遣
- ③ 海外ツアー及び管理団体との連携、情報共有
- ④ 海外ツアーとの共同主管トーナメントの企画及び運営（2試合）
- ⑤ 海外トーナメントに出場するツアーメンバーのサポート
- ⑥ 2016年、2020年オリンピックに向けての準備

2. ジュニア育成事業

本年度、ジュニア育成事業は以下のように実施した。

- ① スナッグゴルフによる小学校へのゴルフ普及活動（20校）
- ② スナッグゴルフ地区予選及び全国大会の開催
- ③ ジュニアゴルフ大会への支援活動
- ④ 日本高等学校ゴルフ連盟との連携
（全国中学生ゴルフ教育合宿、ビギナーズセミナーに講師の派遣）

3. スコアリング事業

本年度、スコアリング事業は以下のように実施した。

- ① トーナメント会場に公式記録員を派遣し、公式記録を作成
- ② ホームページ・モバイルサイトで、一般閲覧者にスコア速報等の迅速かつ正確な情報発信と選手データ等の豊富な情報の提供
- ③ 新システムへの移行への構築（2016年度10月からの導入）
管理部門と共通

4. 広報・チャリティ・貢献・環境事業

本年度、広報・チャリティ・貢献・環境事業は以下のように実施した。

(1) 広報事業 — ゴルフファンの拡大

- ① ライブ放送、BS、CS、インターネット放送の推進
 - ・ライブ放送（15試合）
 - ・BS放送（8試合）
 - ・CS放送（16試合）
 - ・インターネット放送実施実績
ツアートーナメント2試合
日本ゴルフツアー選手権、ミュゼプラチナムオープン
チャレンジトーナメント4試合
ジャパングリエイト福岡雷山、ミュゼプラチナム、
LANDIC ASSOCIA、elite grips
その他
年間表彰式

- ② ジャパンゴルフツアーオフィシャルガイドブックの発行
- ③ ツアーニュースの発行（月1回）
- ④ 提携コースの活用と新規開拓（23コース）
- ⑤ 肖像権、パブリシティ権等の知的財産権の保護、管理及び運用

(2) チャリティ事業 — プロスポーツ団体としての社会的責任

- ① 日立3ツアーズチャンピオンシップの企画運営（PGA、LPGAと共催）
- ② ザ・レジェンド・チャリティプロアマトーナメントの後援

(3) 貢献事業

- ① 選手と一緒に児童養護施設などへの慰問
- ② ゴルフを通じた東日本大震災の復興支援活動
- ③ 茨城県台風18号等災害義援金の寄贈
- ④ 高松宮妃癌研究基金の寄贈

(4) 環境事業 — 環境問題への取り組み

- ① 長野県飯田市野底山財産区「ゴルフの森」の森林整備活動

5. クオリファイイングトーナメント事業

本年度、次年度の試合出場資格及びランキングの決定は以下のように実施した。

- ① ファーストクオリファイイングトーナメント（2会場 231名参加）
- ② セカンドクオリファイイングトーナメント（11会場 1103名参加）
- ③ サードクオリファイイングトーナメント（6会場 567名参加）
- ④ ファイナルクオリファイイングトーナメント（1会場 178名参加）

6. 管理部門

本年度、管理部門は以下のように実施した。

- ① 職員の新規雇用（4月より新卒者2名採用）
- ② 17団体の連携によるゴルフサミットの推進
- ③ 日本プロゴルフ殿堂の表彰と運営
- ④ ツアーメンバーへのマイナンバー制度の説明
- ⑤ 経費の節減

以上